住む独居老人や家族が冠婚葬祭等で高齢者を一人にするときなどの場合に、一時的に利用できる部屋を2部屋確保しており、管理人が食事も提供し、食費、電気、水道光熱費等を実費負担する委託事業を行っている。

〈在宅介護支援〉

・在宅介護に主眼を置き、介護3以上の寝たきり老人等を介護する世帯に対し慰労金(年5万円)を給付するとともに、デイサービスやヘルパーを充実させている。デイサービスの90％、ヘルパー・ケアマネージャーの100％を社会福祉協議会の介護事業として運営しており、デイサービスの利用にあっては軽度の利用者より重度のかたが栄養のある食事と看護師の健康チェックを受ける目的で利用するほうが多い。

③老人福祉バス運行事業

・高齢者の引きこもり対策として温泉地に隣接した老人憩いの家を設け、月2回バスによる送迎を行い、風呂、食事、カラオケ等による身体のリフレッシュを推奨。入浴も含めて1回300円ということから非常に人気がある。

④デマンド交通

・予約制の乗合自動車により村内は目的地まで、村外は隣接する飯山市の日赤病院まで運行する。

村が車輌2台をタクシー会社に貸与し、年間800万円の運行補助金を支出。

運賃は一律村内300円、村外は400円となっており、運行時間は午前7時から午後4時まで。希望時間の30分前までに予約することとなっている。(土日祝祭日及びお盆期間・年末年始は運休)

平成18年から運行を開始し、ピーク時には年6500人を超える利用があったが、固定利用者の自然減や運転免許証を所持する年齢層が利用の対象となってきたことから、年々減少傾向にある。利用目的は通院利用が50％以上を占める。

※デマンド交通
乗合自動車「ふう太号」

⑤各種検診受診率向上対策

・村の保健センターで集約して行っており、移動手段がない人には送迎も行っている。受診対象外の年齢層に対して基本的な検診を行う「若者健康診査(19歳～39歳)」や「いきいき健康診査(75歳以上)」のほか、歯科検診(19歳以上)を通常のセット検診と合わせて無料で実施し、検診を習慣づける取り組みを行っている。

受診率については、受診者がかかりつけの病院と同様の検診を受けることに抵抗があり、年々減少傾向にあることから、現在は個別検診を進めている。

▼委員会所見

・緊急通報装置の24時間自動感知センサーにおける独居高齢者の孤独死対策は十分な効果があり、検討する余地があるものと考える。

・冬期間あるいは同居家族が留守の場合、木島平村と同様に要支援者等が一時的にショートステイできる場所の確保が可能か検討する必要がある。

・現在試行的に高齢者日常サポート事業を実施しているところであるが、木島平村と同様な理由から今後利用者の減少も考えられ、利用者の利便性や有料化等を視野に効率の良い運営を探る必要がある。

・本町は行政面積も広く、集落も点在しているため、各種検診を1ヵ所に集約して実施することは難しく、現在は3ヵ所で行っているところ。

受診率については木島平村と同様の課題を抱えており、今後、率の向上も重要であるが、検診結果を踏まえた生活習慣病の予防・改善等、保健指導の充実がより一層重要である。

バイオマス推進事業
山形県飯豊町

飯豊町は山形県の南西に位置する人口およそ8000人の町で、平成13年の第3次総合計画に合わせてバイオマス新エネルギービジョンを策定し、町内の豊富な森林資源を有効に活用すべく、官民が一体となってバイオマス推進事業に取り組んでいる。

①バイオマス推進事業

バイオマス関連事業を展開するには多額の財源が必要となるため、平成16年に環境省の「環境と経済の好循環のまちづくりモデル事業」の採択を受け、バイオマスに対する普及・啓発を主とするソフト事業と具体的に導入するハード事業の2つに分け取り組んでいる。

②めざみの里協議会

事業を進めるにあたっては、町の振興審議会をはじめ、教育、ＪＡ、商工、大学機関を含めて様々な団体が参加し、協議会の中に人づくりや情報発信を実施する部会、新エネルギーやペレットストーブの普及・啓発等を行う部会、総合的に計